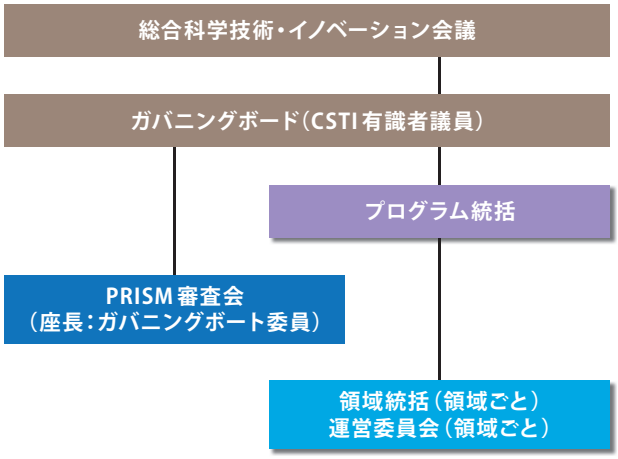
PRISM研究開発型の概要

研究開発型の実施体制

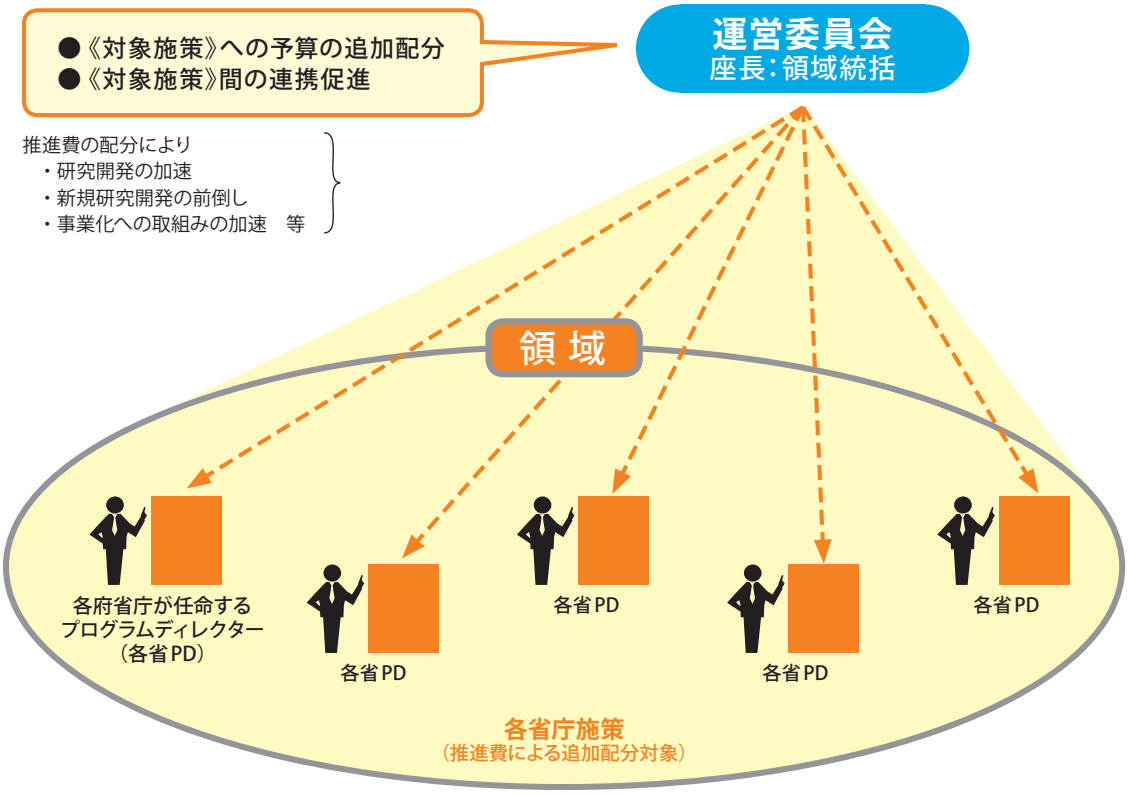
CSTIが、各種戦略の実現に必要かつ司令塔として実施すべき重要な施策を推進するため、ガバニングボードがターゲット領域を設定し、領域統括の下、研究開発を推進する体制となっている。

また、令和元年に、ガバニングボードの下にPRISM審査会を設置し、評価、管理プロセスの強化を図っている。

- ガバニングボードが、統合イノベーション戦略に基づく各種戦略等の実現に必要な施策をトップダウンで決定。
- プログラム統括を設置し、ガバニングボードの業務を補佐。
- ガバニングボードによる評価、管理プロセスを強化するため、PRISM審査会を設置。
- ターゲット領域ごとに産学からトップクラスのリーダーを領域統括として選定。
- 領域統括の業務を補佐するため、領域ごとに領域統括を座長とした運営委員会を設置。
- これらを通じて、SIPの優れた特徴を備えたマネジメント（SIP型マネジメント）を実施。



※ 領域ごとに以下の体制を整備



※ 各府省庁の施策ごとにPDを配置

PRISM研究開発型の概要

ガバニングボードとは

「科学技術イノベーション創造推進費に関する基本方針」（平成26年５月23日総合科学技術・イノベーション会議）において、CSTIの下に、CSTI有識者議員を構成員とするガバニングボードの設置を規定。

ガバニングボードにより、SIPとPRISMを一体的・機動的に推進。

官民研究開発投資拡大プログラム（PRISM）ガバニングボード構成員

（令和3年4月1日現在）

【ガバニングボード座長】

橋本 和仁

国立研究開発法人物質・材料研究機構理事長
内閣府 総合科学技術・イノベーション会議有識者議員

【構成員】

上山 隆大

元政策研究大学院大学教授・副学長
内閣府 総合科学技術・イノベーション会議有識者議員

小谷 元子

東北大学 理事・副学長
材料科学高等研究所 主任研究者
大学院理学研究科数学専攻教授
内閣府 総合科学技術・イノベーション会議有識者議員

篠原 弘道

日本電信電話株式会社（NTT）取締役会長
一般社団法人日本経済団体連合会副会長・
デジタルエコノミー推進委員会委員長
内閣府 総合科学技術・イノベーション会議有識者議員

梶田 隆章

日本学術会議会長［関係行政機関の長］
内閣府 総合科学技術・イノベーション会議有識者議員

梶原 ゆみ子

富士通株式会社 執行役員常務
内閣府 総合科学技術・イノベーション会議有識者議員

佐藤 康博

株式会社みずほフィナンシャルグループ 取締役会長
一般社団法人日本経済団体連合会副会長
内閣府 総合科学技術・イノベーション会議有識者議員

藤井 輝夫

東京大学総長
内閣府 総合科学技術・イノベーション会議有識者議員

【プログラム統括】

須藤 亮

株式会社東芝 特別嘱託
内閣府政策参与・プログラム統括